

1. イエス様には12人のお弟子さんがいました。それはみんな知ってるよね？
お弟子さんの中では、ペテロさんやヨハネさんなど有名な人たちもおりますが、あまり知られていない人もいますよね。

2. さて、それでは問題です。この一番左端の人は誰でしょう？ほとんど誰も分からないと思いますけど・・・。

3. はい、この人はナタナエルさんと言います。聖書の箇所によっては、バルトロマイと呼ばれる時もありますよ。

ちょっと目立たないですけどね、今日はナタナエルさんのお話しなんです。

4. イエス様が一番初めにバルトロマイさんを見たのは、バルトロマイさんがいちじくの木にいた時でした。そのことがきっかけで、バルトロマイさんはイエス様にお従いする、お弟子さんになったんです。

さてここで、2つめの問題です！

バルトロマイさんはいちじくの木の下にいたわけですが、彼はそこでいったい何をしていたのでしょうか？いつものように、三つの中から選んでくださいね。

5. ①人生とは何か、救いとは何か、神様とはどんなお方か、聖書には何が書いてあるのか…
そんなことを色々と考えていた。

6. ②木陰があまりにも気持ちいいので、毎日そこで昼寝していた。よだれたれてますね。

7. ③楽しそうに歌って踊って遊んでいた。何の歌をうたっていたのでしょうか？
「♪大きなイチジクの木の下で～♪」ですよー。

8. ①「人生を考えていた」 ②「昼寝していた」 ③「遊んでいた」 さて、どれでしょう？

9. はい、答えはもちろん①ですね。ナタナエルさんは、いつもいちじくの木の下で、神様のこと、聖書のこと、救いのこと、そして自分の人生のことなどを色々と考えていたことでしょう。そんな姿をイエス様はごらんになったんだね。

10. これはナタナエルさんがイエス様にお従いした時の言葉です。
「あなたは神の子です。あなたはイスラエルの王です。」ヨハネ1:49

11. まじめに人生を考えていたナタナエルさんは、イエス様にお出会いしました。そしてその生涯をかけてイエス様のことを宣伝伝えたのです。ナタナエルさんは、最後はインドにまで行って福音を宣伝伝えたと言われているのですよ。

何のために生きているのか、何のために人生はあるのか、生きていて何の意味があるのか、死んだらどうなるのか、大人になると悩むことがあります。子供でも悩むかもね。でもね、イエス様を信じたら大丈夫、イエス様は私たちの人生に喜びを与えてくださいます。

おしまい。